

手軽に出版・1冊からOK!

Quick Book

クイックブック

のご案内



コストを低く抑えられます。



短期間で本を作れます。

クイックブックについて

クイックブックとは、お手軽に本を作っていただくために郁朋社が開発した新しい出版システムです。1冊から印刷・製本できます。

特徴

お客様ご自身がお持ちの原稿データを元に印刷対応データを作成することで、**低料金・短期間**での本の製作が可能になりました。

手書き原稿をお持ちの方も別途データの入力費用をご負担いただく形ご利用いただけます。

基本料金

印刷データ作成費 + 印刷製本費 = 30,000円 (200ページ以内の場合)

二冊目以降：5,000円

クイックブックの体裁

本の大きさ : A5判 (21.0cm × 14.8cm)

表紙・カバー : ソフトカバー製本、カバーはカラー写真挿入可 (1点のみ)

カバーにお客様オリジナルの写真・イラスト等の挿入を希望される場合は、別途5,000円の費用がかかります。

カバーは、校正用原稿と一緒に送るデザインパターンの中から好きな模様と色をお選びいただけます。

ページ数 : 最大500ページまで

本文の組み : 縦組み・横組み どちらでも可

クイックブック製作上の留意点

このシステムでは、原則としてお客様にクイックブック対応用の原稿データをご用意いただきます。

その後、ご用意いただいた原稿データを印刷用に変換し、お客様による校正 (1回) を経て印刷・製本を行います。

ご注意

- ・クイックブック専用の文字組みソフトを使用するため、複雑なレイアウトが必要な原稿に関しては対応できません (図表、写真等含む)。
- ・製作ソフトの性質上、データ変換時に予期せぬ不具合が生じる可能性があります。そのためお客様の責任のもとしっかりと校正をしていただく必要がありますので、ご了承ください。

クイックブックができるまで

1

資料請求

2

クイックブック対応用 原稿データの作成 **お客様作業**

- ・本パンフレットの「原稿データをお作りいただく際の注意点」をお読みいただき、原稿データを作成してください。
- ・データができあがりしたら、**原稿データ**・**出力した原稿**・**申込書**を郁朋社までお送りください。

3

原稿データをもとに、「校正用原稿」を出力 **出版社作業**

- ・原稿データ到着後、1～2週間で「校正用原稿」をお届けします。

4

校正・返送 **お客様作業**

- ・お届けした「校正用原稿」に、赤ボールペンで修正内容をご記入ください。
- ・同封のカバーサンプル表から、カバーをお選びください。
- **校正用原稿**・**カバーサンプル表**を郁朋社までご返送ください。

5

校正内容をもとに、データを修正・印刷製本 **出版社作業**

- ・修正には1～2週間程度かかります。
- ・印刷製本には1週間程度かかります。

6

本の受け取り・代金のお支払い

本文サンプル 縦組み

文字の大きさ	10pt	書体	明朝体
1 ページの組み	45文字 × 18行 見出しをつけた場合、見出しの前後に空白行が入ります。 大見出し：前後各2行、中見出し：前後各1行、小見出し：前後各0.5行		

このサンプルは原寸大です。

久しぶりの城内であった。鶴丸城は平城である。背後に城山が迫り、南国の緑は屋形を潰す塊に見えた。城の正面、火除け地から海岸までは役所と重臣の屋敷が並ぶ。海沿いに町屋の屋根が見え、対岸に薄紫に煙る桜島が浮かぶ。噂に聞く江戸の薩摩屋敷に比べ、国元の鶴丸城は明らかに貧弱である。鹿児島にこそ、雄藩薩摩に相応しい城が必要だと、市来は思っている。江戸には行ったことはないが、噂に聞く薩摩屋敷と威厳ある門構えは有名だ。藩主の江戸での住まいである上屋敷、斎彬様が住んでいた江戸城近くの中屋敷、それに隠居重豪様が住んだ下屋敷。それらの維持管理で手一杯なのであろうか。鹿児島にも天守閣が欲しい。そんなことを考えていたとき、庭の向こうに人影が浮かんだ。

名越彦大夫が急ぎ足でやってきて、

「正右衛門、殿が直々に会われる。そのつもりで」と声をかけて引き返して行った。

これまでに二度、斎彬様をお見かけしている。海防のために前藩主斎興様に代わってご帰国された時と鉄砲隊大操練の時であった。二度とも遠くにお姿を見ただけであったが、今日は直接の呼び出しである。暑さもあるが、藩主に直に会うことの緊張から胸元を汗が流れた。

藩主は名越彦大夫を伴って現れ、市来の傍で独り言のように告げた。

「琉球へ下り、中山王と摂政三司官に伝えよ。語学や医術修業のために鹿児島と琉球の若者五人ずつを外国へ送る。年限は四年、金銭の心配は無用だ。留学先は在琉フランス人に頼むがよからう。鹿児島

島の若者には琉装をさせる」

本文サンプル **横組み**

文字の大きさ	10pt	書体	明朝体
1 ページの組み	30文字×27行 見出しをつけた場合、見出しの前後に空白行が入ります。 大見出し：前後各2行、中見出し：前後各1行、小見出し：前後各0.5行		

このサンプルは原寸大です。

久しぶりの城内であった。鶴丸城は平城である。背後に城山が迫り、南国の緑は屋形を潰す塊に見えた。城の正面、火除け地から海岸までは役所と重臣の屋敷が並ぶ。海沿いに町屋の屋根が見え、対岸に薄紫に煙る桜島が浮かぶ。噂に聞く江戸の薩摩屋敷に比べ、国元の鶴丸城は明らかに貧弱である。鹿児島にこそ、雄藩薩摩に相応しい城が必要だと、市来は思っている。江戸には行ったことはないが、噂に聞く薩摩屋敷と威厳ある門構えは有名だ。藩主の江戸での住まいである上屋敷、斎彬様が住んでいた江戸城近くの中屋敷、それに隠居重豪様が住んだ下屋敷。それらの維持管理で手一杯なのであろうか。鹿児島にも天守閣が欲しい。そんなことを考えていたとき、庭の向こうに人影が浮かんだ。

名越彦大夫が急ぎ足でやってきて、
「正右衛門、殿が直々に会われる。そのつもりで」
と声をかけて引き返して行った。

これまでに二度、斎彬様をお見かけしている。海防のために前藩主斎興様に代わってご帰国された時と鉄砲隊大操練の時であった。二度とも遠くにお姿を見ただけであったが、今日は直接の呼び出しである。暑さもあるが、藩主に直に会うことの緊張から胸元を汗が流れた。

藩主は名越彦大夫を伴って現れ、市来の傍で独り言のように告げた。

「琉球へ下り、中山王と摂政三司官に伝えよ。語学や医術修業のために鹿児島と琉球の若者五人ずつを外国へ送る。年限は四年、金銭の心配は無用だ。留学先は在琉フランス人に頼むがよかろう。鹿児島の若者には琉装をさせる」

三十歳になるまで夷人と話を交わしたことなど皆無である。話をどう進めてゆくかを考えていたとき、

縦組みで原稿データをお作りいただく際の注意点

データの形式について

Windowsの Word・一太郎 または テキスト形式 で保存したものをご用意ください。
ワープロで作成される場合は、MS-DOS保存 をしてください。

補足

- ・データを作成される際、文字のポイント数（大きさ）や書体、縦組み・横組み等の設定は特に必要ありません。

お願い

- ・データと一緒に、ご自宅のプリンターで出力（印刷）した原稿も必ず同封してください。

見出しの指定について

文章には、大見出し、中見出し、小見出しをつけることができます。

- ・これらの見出しは、すべて目次に反映されます。
- ・見出しをつける場合、出力した原稿に赤ボールペンで(大)・(中)・(小)と印をつけてください。

補足

- ・見出しの文字数について
1行に入る文字数は、大見出しが22文字、中見出しが36文字、小見出しが44文字までです。これ以上文字数が増えますと、2行になって表示されます。

制限・禁止事項

①ルビは使用できません。

読みがなをつけたい場合は、漢字の後に（ ）を付けて読みがなを入れてください。

【例】永遠（とわ）

②傍点は使用できません。

【例】あいうえお

③丸付き数字は①～⑳まで使用できます。

④記号について

| 《 》 < > 、 （ダッシュ） - （マイナス） （ハイフン） （オーバーライン） _ （アンダーライン） = 、 、 、 は使用できません。

この他にも使用できないものがあるため、できるだけ記号のご使用はお控えください。

（ ）【 】[]「 」〔 〕『 』{ } 〒は使用できます。

⑤全角文字のピリオド「 . 」とカンマ「 , 」は使用できません。

ただし、半角文字では使用できます。

⑥旧字や特殊な漢字は、？マークとして変換されてしまうことがあります。

校正の際に、注意してご確認ください。

ご注意

- ・上記の制限・禁止事項を含んだ原稿データをお送りいただいた場合、その部分が誤表示されます。校正段階での修正も可能ですが、有料となりますので、ご了承ください。

横組みで原稿データをお作りいただく際の注意点

データの形式について

Windowsの Word・一太郎 または テキスト形式 で保存したものをご用意ください。
ワープロで作成される場合は、MS-DOS保存 をしてください。

補足

- ・データを作成される際、文字のポイント数（大きさ）や書体、縦組み・横組み等の設定は特に必要ありません。

お願い

- ・データと一緒に、ご自宅のプリンターで出力（印刷）した原稿も必ず同封してください。

見出しの指定について

文章には、大見出し、中見出し、小見出しをつけることができます。

- ・これらの見出しは、すべて目次に反映されます。
- ・見出しをつける場合、出力した原稿に赤ボールペンで(大)・(中)・(小)と印をつけてください。

補足

- ・見出しの文字数について
1行に入る文字数は、大見出しが14文字、中見出しが24文字、小見出しが29文字までです。これ以上文字数が増えますと、2行になって表示されます。

制限・禁止事項

①ルビは使用できません。

読みがなをつけたい場合は、漢字の後に（ ）を付ける形で説明を入れてください。

【例】永遠（とわ）

②傍点は使用できません。

【例】あいうえお

③丸付き数字は①～⑳まで使用できます。

④記号について

| 《 》 は使用できません。

() 【 】 [] 「 」 { } 『 』 { } 〒は使用できます。

⑤全角文字のピリオド「 . 」とカンマ「 , 」は使用できません。

ただし、半角文字では使用できます。

⑥旧字や特殊な漢字は、?マークとして変換されてしまうことがあります。

校正の際に、注意してご確認ください。

ご注意

- ・上記の制限・禁止事項を含んだ原稿データをお送りいただいた場合、その部分が誤表示されます。校正段階での修正も可能ですが、有料となりますので、ご了承ください。

料金表

1冊あたりの基本料金

ページ数は表紙を除いた本文のみ。最大500ページ。

	200ページ以下	201～300ページ	301～400ページ	401～500ページ
1冊目	30,000	40,000	50,000	60,000
2冊目～	5,000	7,500	10,000	12,500

単位(円)

手書き原稿の文字データ変換費用

1文字	1円
-----	----

文字数は、本の完成後にページ数から換算します。

例：45(字)×18(行)×100(ページ)＝81,000円

校正時の別途費用について

改行・文字組みの調整など	無料
文章の修正	基本的に1ヶ所50円

カバーに写真やイラストを挿入する費用について

写真・イラスト等	5,000円
----------	--------

カバーには、写真かイラストをどちらか1点のみ入れることができます。

お支払い方法

納品時に、請求書と振替用紙を同封いたします。

内容をご確認後、1週間以内に指定の金融機関にてご入金ください。

お問い合わせ・資料請求先

株式会社 郁朋社 (いくほうしゃ)

〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-20-4 八木ビル

Tel. 03-3234-8923 Fax. 03-3234-3948

e-mail : info@ikuhousha.com URL : <http://www.ikuhousha.com>



